



# ふれあいいいかた

生涯学習だより

## 伊方町立伊方小学校ライフジャケット贈呈式

5月2日、伊方ライオンズクラブから伊方小学校にライフジャケットが贈呈されました。

詳しくは2ページ

# 6月号

平成30年6月1日発行 No.158

■発行 伊方町教育委員会  
■編集 教育委員会事務局 生涯学習室

## 水ヶ浦小学校閉校特別企画①

# 「交流遠足」

この企画は、水ヶ浦小学校が今年度をもって閉校し、伊方小学校と統合することから、最後の1年間の記録を不定期でお伝えするものです。



さわやかな晴天となった10日の朝、伊方小児童が歩いて水ヶ浦小まで来ました。早速、グループごとに分かれて自己紹介をし、二つの場所に分かれて交流活動を行いました。運動場では、「手つなぎ鬼」をして遊びました。大集団での鬼ごっこに、大きな歓声が上がっていました。体育館では、「フラフラ抜け」のゲームを行いました。グループで手をつないで、協力しながら仲良く行いました。また、水ヶ浦小の児童が先導し校舎内の見学も行いました。

お昼は、運動場でお弁当を食べました。お話をしたり、お菓子を分けあったりと、仲良く過ごしていました。

5月10日（木）、伊方小学校と交流遠足を行いました。これまでも遠足や授業の交流をしてきましたが、人や移動の関係で、水ヶ浦小児童が伊方小方面に行く形でした。統合する前に、一度水ヶ浦小で交流活動をしたという思いから、今回は伊方小児童に来ていただくことになりました。

午後は、フィールドワークを行いました。大浜地区や中之浜地区に六つのポイントを作っており、それを探しながら歩きました。クイズに答えたり、歌を歌ったりしながら、初夏の海岸道路をみんなで歩きました。

今年度、「ふれあいいかた」で取り上げていただくこととなり感謝いたします。水ヶ浦小の最後の一年間が、最高の思い出となるように、児童、職員、保護者、地域が協力して閉校関連行事を計画しています。これからもいくつか紹介していきますので、どうぞよろしくお願ひします。



# ライフジャケット贈呈式

## 伊方小学校

5月2日（水）、伊方小学校体育館において「伊方町立伊方小学校ライフジャケット贈呈式」が行われ、伊方ライオンズクラブから伊方小学校にライフジャケット60着が贈られました。

これは、ライオンズクラブの四国地区の合同事業「四国子どもたちにライフジャケットを贈ろう」によるもので、東日本大震災の教訓から町内で一番海抜の低い伊方小学校が選ばれました。

式典では、伊方ライオンズクラブ河野会長から泉校長先生に目録が贈



呈された後、校長先生と児童代表2名にライフジャケットが贈られました。

また、伊方小学校では、5月9日（水）に地震と津波を想定した避難訓練が実施され、贈呈されたライフジャケットを着用し避難しました。

今回のライフジャケットの贈呈により、いつ起きてもおかしくない南海トラフ地震、そして、津波に対する児童の意識も変化したのではないかと思います。そして、このライフジャケットにより、できるだけ多くの命が助かってほしいと思います。



# 「未咲輝塾」オープン 本格授業開始



三崎高等学校でプレオープンしていた公営塾が、5月7日に「未咲輝塾」として正式にオープンし、開講式が行われました。この塾は、本町唯一の県立高校である三崎高等学校の存続と人材の育成による地域の活性化を図ることを目的としています。

開講式では、高門町長、三崎高等学校若江校長からそれぞれ挨拶があり、講師の自己紹介の後、塾生を代表して、浅野ひかるさんから決意表明が行われました。



講師には今月号の広報いかたで紹介されている、地域おこし協力隊の横井博文さんと廣橋昂希さんがあたります。

今後は、三崎高校と連携しながら、高校の補完機能として学習の習慣化並びに進路を含むキャリア形成支援等を行っていきます。

この塾の開講によって、三崎高等学校がさらに魅力的な学校となり、ふるさと愛溢れる人材が育つ環境となることを期待します。

## 新生児土俵入り 参加希望者の募集

7月29日(日)に開催される、きなはいや伊方まつり2018「子ども相撲教室 伊方場所」において、力士による新生児の土俵入りを実施します。



これは、強い力士にあやかり、健康でたくましい子どもに育つようにという願いを込めて行われるものです。

希望される方は、新生児の氏名・生年月日及び保護者の住所・氏名・続柄・連絡先を町教育委員会事務局生涯学習室へ電話(38-2661)・FAX(38-1179)等でお申込みください。

なお、申込者多数の場合は、町内在住者を優先した抽選を行い、参加者を決定します。(申込者には、決定次第、通知します。)

また、当日の申込みは受付出来ませんので、ご了承ください。

- 募集人数 5名程度
- 締め切り 7月6日(金)

## いかた女性塾 塾生募集!!

地域における男女共同参画社会づくりを進めるため、地域に密着した学習及び調査研究を行う女性塾を開催することにより、人材の育成を図っています。

事業内容は、毎年、塾長を中心にみんなでテーマを決めて活動しています。

皆さんの参加を塾生一同お待ちしております。

### ◎30年度の主な事業(案)

- ・「日本女性会議2018金沢」への参加
  - ・町議会の傍聴
  - ・男女共同参画社会づくりに関する諸会議への出席
  - ・福祉ボランティア
- ☆その他、第1回目の会議で協議します。

◎対象者 町内に在住の成人女性

◎年会費 1,000円

お問い合わせ

教育委員会事務局  
生涯学習室 38-2661



## 「上手に掘れるかな？」 ～ タケノコ掘り体験 ～

中央・町見公民館



4月21日(土)、毎年恒例の『タケノコ掘り』体験を行いました。当日は汗ばむ陽気の中、竹林で泥だらけになりながら、タケノコを一生懸命に探し、あちこちで「あったー」と子ども達の声が上がっていました。



今年には伊方地域の全小学校からの参加があり、昨年以上に大勢で、タケノコの数が足りる心配でしたが、全員掘ることができ、皆、満足した様子でした。中央公民館に帰ってからは竹を使って友達と助け合いながら器と箸を作りました。タケノコを使った料理では、タケノコが苦手だなと言っていた子どもや初めてタケノコを食べる子どももありましたが、おかわりをしたり、他校の友達と仲良く食べていました。そして、自分たちで作った竹の食器で食べる料理は格別だったようです。

今回の『タケノコ掘り体験』を通して、自然の恵みを自分の手で採り、料理して食する一連の過程を体験することにより、当たり前になってきている「食」について再認識することができたのではないのでしょうか。

最後に、この事業にご協力頂いた保護者の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## 学級・講座に参加してみませんか？

町見公民館

町見公民館では、教養の向上、健康の増進等を目的として、住民の方々に学習の場を提供させていただき、ふるさとづくりに努めています。今年度も様々な事業実施を予定していますので、昨年度の活動内容を一部ご紹介させていただきます。

ふるさと再発見教室では、地域住民等のご協力の下、九町小学校児童が中心となり、町見地区の石仏やお寺巡り、野外体験昔の遊び及び郷土料理を実施し大変好評でした。



ココススクールでは、ヨガ教室、陶芸教室、多肉植物寄せ植えを実施し楽しく学習を行いました。



町見老人大学では、九町小学校児童との交流ペタンク大会、町外視察研修、健康講座及びお楽しみ演芸大会を実施し、積極的な社会参加を図り融和と親睦を深めました。



他にも男の料理教室や絵手紙教室等があり、多くの方々に参加していただき大変好評でした。今年度も更に内容を充実させ魅力ある事業を実施していきたいと考えていますので、ご参加、ご協力をよろしく願っています。

# 風薫る青空を泳ぐこいのぼり ~こいのぼりまつり2018~

三崎公民館

今年で10回目となる神松名6地区の交流事業「こいのぼりまつり」が5月5日(土)のこどもの日に三崎公民館二名津分館で開催されました。風薫る青空の下、伊方堂々太鼓ジュニアのみなさんの勇壮な太鼓演奏が祭りの始まりを告げると盛大な拍手が沸き起こりました。

まつりが始まると子ども餅つき体験、ふれあいゲーム、バザー等、各種イベントが行われ、祭りを盛り上げていました。

今年は一、二名津地区体育館では山ちゃんホットブラザーズのバンド演奏の他、マジックショーも行われ、多くの来場者が楽しみました。



グランドゴルフ



マジックショー



餅つき体験

まつりの最後を飾るのは恒例の大餅まきです。グラウンドの設置されたステージ上から餅が投げられる度、子どもから大人まで参加者全員から歓声が沸きあがり、餅拾いを楽しんでいました。

## 今年度の自治公民館主事さんです。

伊方地区	
地区名	氏名
大浜	山口宇太郎
中之浜	木下強
仁田之浜	由井一隆
河内	赤坂均
湊浦一	牛尾元宣
湊浦二	守田守
小中浦	吉本忠史
伊方越	井関睦彦
亀浦	宮本寛
中浦	福島正吉
川永田一	阿部市彦
川永田二	藤中秀樹
豊之浦	山崎勝司
奥	川縁清国
向	宇都宮幹夫
畑	脇田昇一郎
須賀	門田光
久保	井村大貴
西	徳田島男
二見	山田功
加周	玉井祐治
田之浦	古田陸臣
古屋敷	松本安幸
大成	小島大作
鳥津	岩井清満

瀬戸地区	
地区名	氏名
三机	木村林栄
上倉	大谷一正
松之浜	浜家順一
佐市	山本敏彦
塩成	新見晃由
足成	磯崎敬
大江	木村庄二
志津	高橋敏光
小島	梶原代
大久	中村修二
川之浜	阿部真紀子
田部	谷本喜一郎
神崎	和田弘毅

三崎地区	
地区名	氏名
三崎	松本真須美
高浦	加藤克馬
佐田	山本みさ子
大佐田	宮本征士
井野浦	塩崎満雄
与修	小田輝彦
串	阿部邦弘
正野	安部松義
二名津	山崎長一郎
明神	大谷勉
松	西村洋一
名取	木村公志
釜木	伊津友重
平磯	浅野咲恵

### 太字・・・今回異動があった公民館主事

公民館活動は、地域に根ざした文化活動、学習活動を通じて交流を深める場であり、人づくり・仲間づくりから地域づくり・まちづくりへと発展していく場です。

地域の活性化推進のために、「自分たちの地域は自分たちの手で」を合い言葉に、町民の皆さんは声を掛け合い積極的に自治公民館活動に参加しましょう。



# 図書館だより



## 6月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○…おはなし会 □…休館日

### 利用案内

■開館日時／火曜日～日曜日 午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日の時はその翌日も）  
祝日・月末図書整理日・年末年始・蔵書点検日

### ■返却について

町見公民館・瀬戸町民センター・三崎公民館で図書と雑誌の返却ができます。

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

愛媛県西宇和郡伊方町湊浦1992番地 TEL (0894) 38-0607

## 新着図書

### 《一般書》

『敗れども負けず』

武内 涼／著

#### 《内容紹介》

使命に目覚める者、伴侶を見つけた者、負けることでしか望みを叶えられなかった者…。負の教訓として歴史に名を残す敗戦の将たちが、どん底から立ち上がる様を描く。



- 『ペインレス』（上・下巻） 天童 荒太／著
- 『三千円の使いかた』 原田 ひ香／著
- 『5時過ぎランチ』 羽田 圭介／著
- 『にゃん! 鈴江藩江戸屋敷見聞帳』 あさの あつこ／著
- 『カットバック』 今野 敏／著
- 『泣きかたをわすれていた』 落合 恵子／著
- 『カラヴァル』 ステファニー・ガーバー／著
- 『あやし草紙』 宮部 みゆき／著
- 『バルス』 楡 周平／著
- 『怪物』 中村 航／著、井上 尚弥／著
- 『人の名前が出てこなくなったときに読む本』 松原 英多／著
- 『定年入門』 高橋 秀実／著
- 『家事の得ワザ』 得する人損する人／編  
ほか

### 《児童書》

『うまはかける』

内田 麟太郎／文  
山村 浩二／絵

#### 《内容紹介》

おおかみが、かける。おおかみにおわれた、うまもかける。かけにかけで…。さあ、どうなる?! ことばあそびの繰り返し楽しい絵本。



- 『べるがなる』 山村 浩二／さく・え
- 『たぬきのおやしき』 井出 幸子／文、菊池 日出夫／絵
- 『ようかいしりとり』 おくはら ゆめ／作
- 『がまばあさん』 マットかずこ／ぶん・え
- 『ぼくが見たお父さんのはじめてのなみだ』 そうま こうへい／作
- 『はかってみよう長さ・重さ・時間2』 新聞 竹彦／著
- 『ココロ迷路』 野出 正和／著
- 『コクルおばあさんとねこ』 フィリパ・ピアス／作
- 『弱小FCのきせき』 マイケル・モーバーゴ／著
- 『徳川歴代将軍と江戸の偉人』 童門 冬二／監修
- 『水色の不思議』 斉藤 洋／作
- 『奇譚ルーム』 はやみね かおる／著  
ほか

新しく購入した本は右記の図書館ホームページからもご覧いただけます。URL: <http://www.town.ikata.ehime.jp/site/tosyokan/>

## 新着CD

- 『Finally』 Namie Amuro
- 『BOOTLEG』 米津 玄師
- 『#TWICE』 TWICE
- 『÷』 エド・シーラン
- 『SMAP 25 YEARS』 SMAP
- 『五木ひろし全曲集 2017』



五木 ひろし ほか

貸出中の資料は、図書館窓口・館内検索機・インターネットから予約ができます。

## ピップスおはなし会のご案内

### ～ 6月のおはなし会 ～

日時：9日（土）・23日（土）

午後1時30分～

場所：図書館 おはなしコーナー

対象：どなたでも参加できます♪

ボランティア会員を募集しています。興味のある方は、図書館へお気軽にお問い合わせください。



# 佐田岬半島の自然 スライド上映会 (第132回)

6月27日(水) 19時～

今月のテーマ

「嫌われ者の存在理由」

※入場無料・お気軽にお越しください。

TEL・FAX 39-0241  
不在の場合 38-2661 生涯学習室  
開館時間 9:30～16:30  
休館日 月曜日ほか

## ◆ 今月のきょうどかん ◆

2018年 6月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

○=夜スライド上映 □=休館日

## 『佐田岬半島の鯨塚』 パンフレットが出来ました



町内には、沿岸に流れ着いたクジラを供養するために建てられた石碑「鯨塚」が7基もあります!愛媛県内の市町では最多!海に囲まれた佐田岬半島の大自然と、クジラの冥福を祈った先人に思いをさせてみては。A5版8頁、フルカラー  
町見郷土館や町内の道の駅などで無料配布中!

## 『町見郷土館研究紀要』第4号刊行!

渡り鳥やクジラ・エイの記録。戦時中の監視哨や、近代化遺産の住宅建築まで地域の最新研究を掲載!  
A4版50頁 頒布価格1冊600円

お問い合わせ・購入は町見郷土館まで。

町見郷土館から

## クジラの思い出

海に囲まれた佐田岬半島は、しばしば大きな鯨に遭遇することがありました。

正野の野坂貝塚は正式な学術調査の待たれる愛媛県内でも数少ない貝塚のひとつですが、そこからもクジラと思われる骨片が見つかっています。

まれに海岸に流れ着いたり、捕鯨などを通じて人々の目の前に現れた巨大なクジラは、食糧としての恩恵だけでなく、魚と違って血が温かいことに驚かれたりと強い印象を与え、各地にその供養のための塚や墓が建てられました。例えば山口県長門市の「青海島鯨墓」は国指定の史跡にもなっていますし、近場では、

西予市明浜の鯨塚も市の文化財ですね。佐田岬半島には、現在分かっているだけでもその数七基。

江戸時代～昭和初期のもので、その数は愛媛県内の市町では最多を誇ります。

最近では昭和五七年(一九八二)、沿岸に漂着していたクジラが佐田岬漁港に水揚げされました。覚えておられる方も多いのでは。同年、当時の大佐田小学校では、グラウンドの壁に大きなクジラの絵がお目見えしました。今ではほとんど消えていますが、私たちが忘れかけている海を通じた佐田岬半島の文化を思い起こす意味でも、地域のシンボルだったあの壁画をみんなで復活させるのもいいかもしれませんね。

佐田岬長裕ノート

157





雨の日に教えられたこと

中央公民館

子どもが高校に進学し、毎日、高校まで送迎するようになりまし  
た。少しでも家を出る時間が遅く  
なると渋滞にひっかかったり、前  
の車がゆっくりとしか進まなかつ  
たりすると、後もう少しで学校に  
着くのにとイライラしている自分  
がいます。そこで慌てると事故を  
起こしかねなく、自分だけがイラ  
イラしても、車が早く進むわけ  
はありません。

また、雨の日は、視界も悪く特  
に霧が出ているときが一番怖いで  
す。安全のため自分はゆっくりと  
車を走らせていても、車間距離を  
とらず後ろにびったりとついてき  
て急がせるような感じの車もあり  
ます。その時は、車をよけて先に  
行かせてあげることあります。

先日の帰り道のことです。前に  
ゆっくりと走っている車がありま  
した。「なんで遅いのかな？雨が  
降っているからかな？」と思っ  
ていると、前にバイクが走ってい  
たのです。その車は、車間距離をと  
り、ゆっくりと走るバイクを急が  
せることはありませんでした。

その車は、しばらくバイクの後  
ろを走っていました。途中で対  
向車も来なくなり、安全が確認で  
きた時点でバイクを追い越して行

きました。ふとバックミラーを見  
ると後ろには何台も車が連なっ  
ていました。家路を急ぐ車もあつ  
たかもしれないが、雨も降ってい  
て、焦ってもしかたがないので分  
かれ道にバイクが入るまでそのま  
ま後ろを走って帰りました。  
前を走っていた車が相手のこと  
を思いやり、ゆっくりと走って  
くれたおかげで、早く帰りたいと思  
っていた私に、焦る心を落ち着か  
せ安全運転で帰るように教えてく  
れたように思います。  
今回のことを通して思いやりの  
気持ちは、人の感情を動かすと美  
感しました。みなさん、様々なこ  
とで気持ちを動かされた経験はあ  
ると思います。それは、思いやり  
ではなく差別かもしれないけれど、何  
事にも思いやりを大切にしながら  
行動することで人権を尊重できる  
とともに差別のない世界になっ  
ていくように思います。



伊方スポーツセンター 水泳教室

☆大人の水泳教室☆

泳げない方、泳ぎが苦手な方を対象に、クロールを練習いたします。泳げない方でも安心してご参加ください。



- ☆日 時：6月13日 19:00~19:50
- ☆受講料：500円
- ☆定員：10名
- ☆対象：一般成人男女
- ☆申込方法：事前にお電話か来館して申込み下さい。

トレーニング教室

初心者対象のトレーニング教室です。サーキットトレーニングをおこないます。



- ☆日 時 毎週水曜日 19:00~20:20
- 1期4回の教室になります。
- 1期(1ヶ月)単位の申し込みになります。
- ☆場 所 伊方スポーツセンター3階トレーニング室
- ☆定員 5名程度
- ☆受講料 2,000円(1期4回)

お問い合わせの番号は、伊方スポーツセンター 38-1100、38-0776

リラックス YOGA

シンプルなポーズを組み合し、初めての方でも無理なく参加できるプログラムです。  
心、カラダをリフレッシュしたい方。  
カラダを柔らかくしたい方。  
美しいボディラインを手に入れたい方。  
カラダのゆがみを取り除きたい方。  
深い呼吸と瞑想でリラックス効果を高め、日頃たまったストレスや疲れを癒しませんか？



- ☆日 時 毎週木曜日 19:20~20:20
- ☆開催期間 6月7日(木)~9月27日(木)
- 1期(1ヶ月)単位の申し込みになります。
- ☆場 所 伊方スポーツセンター3階会議室
- ☆定員 5名程度
- ☆受講料 2,000円(1期4回) 4回コース  
700円 1回コース



広 報

# 文 芸

俳 句

町見野の花句会

追憶の渚は磧青葉潮

川縁 秀子

走り根の絡み合いたる藤の花

岩井フミエ

小舟行く追いかけて飛ぶや鯉幟

井上敦子

五月晴伝統楽しむ三世代

得能利子

楠若葉詰所の守衛の無表情

西山美津子



三机句会

藤色に濃淡のある藤の花

大野律子

母も子も肩まで浸かる菖蒲の湯

安田増子

紅白の山茶花揺らす通過風

長谷美久仁

鯉のぼり泳ぐ真下に足湯せる

高地瑠美子

番匠句会

野路行かばすみれタンポポ競い咲き

佐々木サチ子

草の中けなげに咲きしアマリリス

柏村ヨシ子

みかん花垣根をこえて香りけり

結城励子

足音にコロギにげる刈り田かな

溝口明美

無住寺や老人会の花むしろ

佐々木忠雄



児遊館からのお知らせ

● DVD 上映会

ドナルド・ダック「ドナルドの磁石騒動」

水道管の工事をするドナルドが使っていた磁石をブルーが飲みこんでしまい!

6月9日(土) DVD上映会を行います。

- 場 所 3階 児遊館
- 上映時間 1回目 10:00~
- 2回目 14:00~



● 工作教室

「フェルトで動物キーホルダーをつくろう」

6月23日(土) 14:00~

切ってはるだけ!

かわいくデコって自分だけのオリジナルキーホルダーをつくってみませんか?

- ※参加費は無料です。
- ※写真は、イメージです。



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館38-2668

地球に愛を 子どもに愛を!

~世界の子どもたちにワクチンを届けよう~  
ゴミ減量を推進しエコキャップ運動に取り組んでいます。

◀ 回収箱設置箇所 ▶

- ・伊方町役場1階ロビー
- ・中央公民館
- ・町見公民館
- ・瀬戸町民センター
- ・三崎総合支所



エコキャップ運動とは、ペットボトルキャップのリサイクル活動に参加することにより、世界が直面する環境や貧困など、様々な課題について、学び、考え、行動する機会を提供する活動です。

伊方町女性団体連絡会